

## 女性農業者の活動を次世代に



柴田町下名生(しものみょう)地区の女性農業者、水戸喜興子さんが、昨年12月に宮城県農業・農村女性活躍表彰で「女性起業・新規事業開拓部門」の最優秀賞を受賞した。地元の特色を活かした起業活動や、農村生活や就労環境の充実を目指す活動を展開している女性農業者などを宮城県が表彰して

いる。

水戸さんは、2004年に地場産食材を加工するための工房花夢華夢(かむかむ)を設立し、弁当・漬物・餅などを製造販売し抜群の経営センスを発揮。現在も町女性地場産振興会代表や、(農)下名生ファームの農産加工部門で味噌製造責任者として味や技術の継承にも積極的に活動しており、地元小学校での味噌づくり教室に出向き、加工技術を次世代へ伝えている。

また、1981年から続けている地元大豆を加工した「柴田特産ぜいたく味噌」の商品開発にも携わっており、地元女性農業者と加工組合を起ち上げ中心的な役割も担ってきた。

受賞に関して水戸さんは「今までの活動を認めてもらい素直にうれしい。またこれからの時代にたくさんの女性農業者が活躍できるよう環境づくりにも力をいれたい」と今後の意気込みを語った。

柴田町では1998年に「男女共同参画都市宣言」を行い、あらゆる分野で女性が活躍できる環境づくりなどを後押ししており、滝口町長、岩間農業委員長も水戸さんの受賞を喜んでいる。